



IRPA会長 Roger Coatesの挨拶

完璧に成し遂げたRenateの後任として、IRPA会長になることは、大変光栄であります。

IRPA会報のこの特別版のとおり、我々は、ケープタウンで素晴らしい会議を開催したばかりであり、私はこの偉大な成功の確保をThiaganと彼の南アフリカの同僚に、この場を借り、謝意を表したいと思えます。

会議での議論は、IRPAプログラムの重要なテーマを確固たるものにしました。私たちは皆、効果的に仕事をするために若い専門家を招き入れ、そして、励まし、支援する必要があります – 未来がかかっているのです。私たちが無視することができない放射線リスクに対する国民の理解に重大な欠落があります。私たちは、加盟学会間で経験を共有し、共通の課題に対処するために多くを行うことができ、そして放射線防護の専門家の支援のない国において新たな社会の発展を促進する必要があります。特に、小さく発展途上の社会の支援と主要な国際機関との意見交換のためのプラットフォームを提供することについて、多くの対話は、私たちの国際及び地域会議の重要性を悟らせました。

おそらく、私たちの最大の挑戦は、放射線防護の専門家の国際的な声として、私たちのビジョンを実現することです。私達は、会員と効果的なコミュニケーションを持ち、世界中すべての大陸の大小様々な社会から、すべての専門家を代表することに注意しなければなりません。

私は、あなたの尽力について、今後の4年間に大きく期待しております。

IRPA 出版委員会

委員長 Christopher Clement : 副委員長 Bernard LeGuen : 会報編集 Chunsheng Li & Ali Shoushtarian : 加盟学会リ
エゾン Adelene Gaw : ウェブサイト管理運営 Andy Karam & Chris Malcolmson : ソーシャルメディア管理運営 Sven
Nagels & Chris Malcolmson : メディア情報収集・提供 Melanie Rickard, Ralph Thomas, Sven Nagels, Young-Khi Lim,
Duncan McClure, Daisuke Sugiyama & Cheng Wei



アフリカでの最初のIRPA国際会議

Thiagan Pather, 第14回IRPA会議 大会長

私は、アフリカで開催された最初のIRPA国際会議が大成功だったことを非常に嬉しく思い、そして恐縮しています。900以上の参加者は、南アフリカケープタウンでの第14回IRPA会議開催中、科学的プログラム、リフレッシュャーコース、サイドミーティング、そして社交行事を楽しまれたことを聞き、元気づけられました。本会議は、世界的な放射線防護コミュニティが直面する重要な課題について対話を進めるための貴重なプラットフォームであり、将来的に何をすべきかを思い出させてくれました。私は、Renate Czarwinski前会長のゆるぎない支援、ICOC及びICPCのご参加とご苦勞、各スポンサー、そして最後にすべての代表者に対し、会議への参加を感謝いたします。

50周年を祝して

Renate Czarwinski, 元IRPA会長2012-2016

2004年以来、理事会で、そして特に最後の4年間はIRPAの歴史上2番目の女性会長として仕事を楽しくできました。

ケープタウンでの素晴らしい第14回IRPA会議で、私たちはIRPAの50周年を祝いました。それは大成功でした。放射線防護分野の25以上の国際機関は、IRPAの業績を認め、祝辞を発表しました。

例えば、リスクの公衆理解のように我々の先進的な活動の継続を確保して、Roger Coatesが2016年から2020年の間のIRPA会長として選任されたことを嬉しく思います。すべての理事、タスクグループメンバー及び関係学会に心から感謝します。私からすべての放射線防護専門家の皆さんへ：ソウルでの第15回IRPA会議の大成功に向かって、チームとして取り組みましょう！



上：元IRPA会長と創設メンバー

（上左から時計回りに）Ken Kase, 会長 2008-12 – Phil Metcalf, 会長 2004-08 – 創設メンバー
Rupprecht Maushart – Geoff Webb, 会長 2000-04



（左から右）John Boice, Sievert Lecturer – Claire Cousins, ICRP議長 – Ethel Gilbert, 金メダル受賞者 – Renate Czarwinski, IRPA会長 – Thiagan Pather 第14回IRPA会議大会長



口頭発表：「話す」「聞く」





天野IAEA事務局長と2012-2016 IRPA理事会

(左から) Thiagan Pather, Ana-Maria Bomben, Roger Coates, Richard Toohey, Eduardo Gallego, Bernard Le Guen, Yukio Amano, Richard Vetter, Renate Czarwinski, Christopher Clement, Jong Kyung Kim, and Alfred Hefner



第14回IRPA会議 総会のハイライト

IRPA理事会 (EC) の新メンバーを選出するため、そして第16回IRPA会議に好ましい開催地を投票するために電子投票が初めて使用されました。従来からの代表らによる挙手により、第15回IRPA会議の開催地としてソウルを、そしてEC役員任命を確認しました。アデレード、オーランド及びビリオデジャネイロの3つが第16回IRPA会議開催地として提案され、オーランドが首位に立ちました。



IARA理事会 2016-2020

役員

会長: Roger Coates (イギリス)

副会長: Eduardo Gallego (スペイン)

副会長 会議対応: Jong Kyung Kim (韓国)

総務: Bernard Le Guen (フランス)

会計: Richard Toohey (米国)

出版ディレクター: Christopher Clement (カナダ)

メンバー

Ana Maria Bomben (アルゼンチン)

Marie-Claire Cantone (イタリア)

Alfred Hefner (オーストリア)

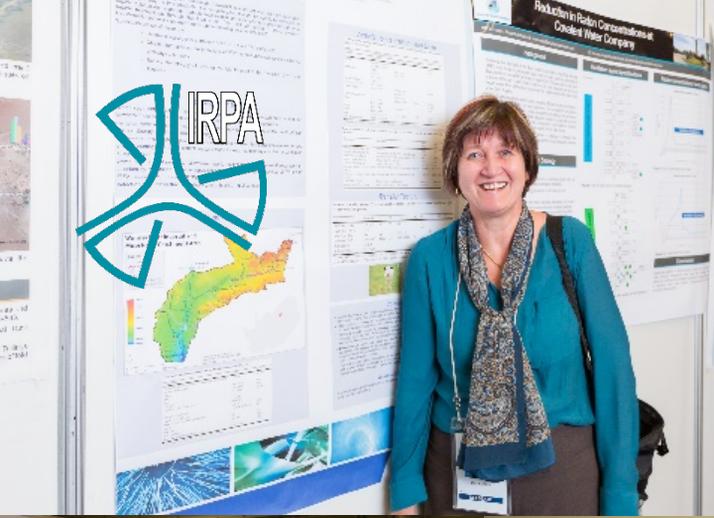
Klaus Henrichs (ドイツ/スイス学会)

Sigurður Magnússon (アイスランド - 北欧学会)

Hiroko Yoshida (日本)

(青字の方々は、新しく入ったか新しいポジションです。)





展示会場の賑わい





2024年IRPA16開催地はオーランドに決定
米国保健物理学会、カナダ放射線防護学会およびメキシコ放射線防護学会が共催。



若手専門家の表彰

それぞれ異なる加盟学会から推薦された20人が「若手専門家賞」に輝きました。

彼らの口頭発表は、会議の通常の発表に組み込まれ、IRPA執行委員会メンバーからなる選考委員会（Alfred Hefner,主査）によって選考されました。すべての受賞者に木枠入り賞状が授与され、上位3名は閉会式の際に壇上にて特に表彰されました。

若手の(一部それほど若くない人も含む)参加者のためのレセプションが木曜日の夕方に開催されました。このレセプションでは、若手専門家ネットワークの新たな議長、Christoph Stettner,が紹介されました。





忘れられない夜
おいしい料理とワイン、素晴らしい
音楽、ダンス、そして笑い - 南アフリ
カ共和国の全て、放射線防護の全
て、そしてIRPAのすべて...。IRPA14
国際会議の参加者は、公式
晩餐会で忘れられない夜を楽しみ
ました。ディナーとエンターテイ
メントが相まって、すばらしい雰
囲気を醸し出し、連携や友情が作
り出され、生涯にわたる思い出
となりました。





会長の交代

（上）新たに就任したRoger Coates IRPA会長(左)が、IRPA会長を退いたRenate Czarwinski前会長(右)からPolvani Bell（訳者註：伝統的にIRPA会合の開会と閉会の際に使用されるベル）を受取る。

（下）IRPA旗が、Thiagan Pather IRPA14大会長（右）からJong Kyung Kim IRPA15大会長（左）に渡される。





Korean Association for Radiation Protection



IRPA 15

15th International Congress of International Radiation Protection Association

May 11 – 15, 2020 | COEX, Seoul, Korea

韓国放射線防護学会

IRPA 15

第15回国際放射線防護学会 第15回国際会合

2020年5月11日～15日

韓国 ソウル COEXコンベンションセンター

